

小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名 大腸がん

申請レジメン名	FOLFIRI	催吐リスク	中度
放射線治療併用	☐ 有 ☒ 無	根拠文献	J Clin Oncol.22(2): 229-37(2004).
1コースの目安	1コース 14日	投与回数上限	☐ 有 (回) ☒ 無

レジメン内容

No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	Day													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	生理食塩液	100ml		中心静注	ライン確保・フラッシュ用		○													
2	パロノセトロン点滴静注バッグ アロカリス点滴静注 デキサート注射液	0.75mg/50ml 235mg 9.9mg		中心静注	30分		○													
3	レボホリナート点滴静注用 生理食塩水	200mg/㎡ 250ml		中心静注	120分		○													
4	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 生理食塩水	150mg/㎡ 250ml	*レボホリナートと 同時投与	中心静注	90分		○													
5	5-FU注 生理食塩水	400mg/㎡ 50ml		中心静注	5分		○													
6	5-FU注 生理食塩水	2400mg/㎡ 150ml	*シュアフューザーボ ンプ使用	中心静注	46h		○													
7	デカドロン錠0.5mg	4mg/day		内服				分2	分2											

注意事項 * レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。 * このシートは1コース分が記載されています。 * 1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。	備考(化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準) デキサメタゾン は、耐糖能等によって適宜増減
--	---